

第9回 思春期保健ミニ講座

～思春期の『生き抜く力』を高める～



開催趣旨

子どもから大人への過渡期である思春期は、身体的、精神的、そして社会的な面において成長・発育していく重要な時期です。そのため、家族や友人との関わりや社会環境などが与える影響は大きく、この時期における現代の思春期問題は複雑でかつ多様化しております。

今回は「なぜ、つらい経験をしてそれを乗り越えたり、苦悩しながらも成長を見せたりする人がいるのか」を15年以上にもわたり、様々な逆境下にいた方々から話をうかがい、語られた内容をもとに「生き抜く力」についての理論や研究データを解釈してきた講師より、思春期に「生き抜く力」を育むために必要なことをお話しいたします。思春期は「生き抜く力」を効果的に育むチャンスです。皆さまのご参加をお待ちしております。



セミナー日程

開催日：6月18日(日)

会場：平和と労働センター・全労連会館2階大ホール
(東京都文京区)

定員：150名

受講料：10,800円(税込)

対象者：保健師・助産師・看護師・養護教諭・教職員・看護教員 など



講座の特長

CHECK

- 心が深く傷ついた子どもへのサポートに活かせる
- 子ども達を支えるあなた(支援者)にも役立つ



プログラム

※プログラムは変更となる場合がございます。予めご了承ください。

時間	内容
10:00～10:30	受付・開会
10:30～12:00	講義「『生き抜く力』のメカニズム」 ・レジリエンスとSOC ・指導者のためのストレスマネジメント など
12:00～13:00	昼休み
13:00～15:30	講義+演習「思春期の『生き抜く力』を高めるコミュニケーション」 ・思春期を支える究極のコミュニケーション ・元気な家庭・学校環境をつくるポイント など
15:30～	閉会・解散



講師紹介 (敬称略)



蝦名 玲子 株式会社グローバルヘルスコミュニケーションズ 代表取締役 (博士:保健学)

ヘルスコミュニケーションスペシャリスト、日本公衆衛生学会認定専門家
米国ミシガン州立大学卒業後、同大学院にて修士号(コミュニケーション学)、東京大学大学院医学系研究科にて博士号(保健学)を取得。日本訪問看護振興財団や大阪府立健康科学センター等で勤務後、2002年にグローバルヘルスコミュニケーションズ代表に就任。国外ではクロアチアで旧ユーゴ紛争生存者の、国内では小児がん患者等の「生き抜く力」研究や支援活動を実施。こうした経験をもとに、保健医療福祉専門職の教育や大学の講義、自治体の地域保健事業や職場のメンタルヘルス対策のコンサルティング等に従事。明快な講演やコンサルティングは好評を博している。日本健康教育学会代議員、東京大学大学院医学系研究科客員研究員等も兼任。主な著書は『生き抜く力の育て方』(大修館書店)、『困難を乗り越える力』(PHP新書)、『折れない心をつくる3つの方法』(大和出版)、『ヘルスコミュニケーション』(ライフ出版社)等。